

しあわせ

vol.
07
2014年5月

トピックス

社会福祉事業はサービス業!!

..... 会長 松原 義人

タイムリー

「地域福祉施設 京都厚生園山田の家」 が開所しました!!

..... 高齢者総合福祉施設 京都厚生園 園長 源野 勝敏

法人との
出会い④

地域に密着した福祉事業を目指して

..... 法人理事 太田 勝己

施設
アラカルト

平成26年度を迎えて

法人職員 2,100名

法人誕生より 99年



社会福祉法人 京都社会事業財団
Kyoto Social Welfare Foundation

NEWS

社会福祉法人 京都社会事業財団

ホームページ開設のお知らせ

この度、社会福祉法人 京都社会事業財団のホームページを開設いたしました。
より一層の内容充実に向けてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



<http://kyoto-swf.com/>



社会福祉法人 京都社会事業財団
Kyoto Social Welfare Foundation

社会福祉事業は サービス業!!



社会福祉法人 京都社会事業財団
会長 松原 義人

この四月には各施設で新入職員を迎えて、職場にフレッシュな雰囲気をもたらされ、活気に満ち溢れていることと思います。

社会福祉事業は、地域社会の一員として自立した生活を営むことを支援する事業で、その殆どは第三次産業に含まれます。第三次産業は、農林業・漁業などの第一次産業や製造業・建築業・工業などの第二次産業に含まれない産業で、多くの業態があり、広い意味でサービス業とされます。中でも社会福祉事業は人が中心となって目に見える形がないものを提供する産業で、部外者に予めその内容や結果を的確に判断してもらうことは困難なことが多いと言えます。結果がもちろん大事ではありますが、その過程も重要な意味を持つと考えます。したがって、適切な情報提供や説明責任を果たすことを含めて、利用者の方々に気持ちよく喜んでもらえるように努めなければなりません。

サービス業とは、人手を介して利用者にサービスを提供し、その対価をいただくだけでなく、喜んで、また利用しよう、あるいは他の人にも勧めようという気持ちになっていただく仕事です。他のサービス業のお客と社会福祉事業の利用者とを同一視することには無理があるかも知れませんが、社会福祉事業のサービス提供を期待して利用されるという意味では利用者はいわゆる顧客と同じでしょう。どんなに立派なスタッフや施設を誇っても、利用者気持ちよく満足してもらわなければ私たちの仕事は全く成り立ちません。

サービスの評価は、まず、その仕事に従事する人の「ことば」と「動作」が、決定的な決め手になると言われています。とりわけ、「最初の印象」、「第一印象」がかなり大きな比重を占めるといわれます。アメリカの心理学者・メラビアンの法則によりますと、表情やしぐさ、視線、見た目などの視覚情報で55%

の印象が決まり、話す時の声の質や大きさ、口調などの聴覚情報で38%の印象が決まり、話した内容、言語情報によってその人の印象が決まるのは僅か7%といわれています。社会福祉事業では、結果が良ければあまり問題にならないことが多かったのですが、それでも最近ではサービス提供者側の対応に不満があればトラブルの原因となります。そうした紛争の原因は、当事者だけに限らず、施設の他の職員の対応のまずさに基づくものも少なくありません。したがって、職員全員が利用者・家族に対してはもろろんのこと、職員同士のコミュニケーションを十分に図るとともにお互いの連携を密に取り合うようにしなければなりません。

年度初めにあたり、皆さんのご健勝とご活躍を祈念いたします。

京都厚生園からのメッセージ

4拠点目となる 「地域福祉施設 京都厚生園山田の家」 が開所しました!!

高齢者総合福祉施設 京都厚生園 園長 源野 勝敏



▲地域交流サロン

京都厚生園山田の家が本年4月に開所しました。実施事業は、認知症対応型通所介護（介護予防を含む）と地域交流サロンです。

建物は築70数年の古民家でどっしりとしたたたずまい。横木の垣根に囲まれ、縁側から庭が広がり、小さいですが畑もあります。秋には庭のだいたいの木に実がたわわに実る。そんな昭和の懐かしい風景を残しています。

この素晴らしい建物を提供して下さったのは地域住民の方です。「ここで地域のために何か事業をしてください」という声に長年の夢であった「認知症になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らし」の実現のため、早い段階で認知症の方と家族に出会える新しい取り組みの一步を踏み出しました。

認知症対応型通所介護事業は、1日の利用定員12名。若年性認知症の方や認知症初期の方など、診断後早い段階でケアに出会える事業所を目指しています。認知症の早期発見・診断を受け、適切な治療と疾患の特徴にあったケアを行うことで

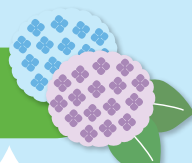
進行を抑え、介護負担や問題を軽減する事が可能とされています。しかし、現実には居場所が少なく家に閉じこもるというケースが多くあります。そこで、京都厚生園山田の家では併設する地域交流サロンにおいて、認知症カフェ（オレンジカフェ）を開催し、認知症の方やその家族が気軽に集い語り合え、医師をはじめとした専門職に早期に自然に出会える、そして高齢者だけでなく子供たちを含む様々な世代の地域住民が出会える場を提供していきたいと考えています。

なお、オレンジカフェは、当面月1回（毎月第3日曜日）午後で開催します。是非お立ち寄りください。お待ちしております。

認知症カフェとは… （オレンジカフェ）



オレンジプラン（認知症施策推進5か年計画・平成24年9月8日公表）の中で、「認知症カフェ」の普及が謳われ「認知症の人と家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき、集う場」と定義されています。早期発見やサービスを受けるまでの空白を埋める場としても期待されています。



京都桂病院

京都桂病院の平成26年度の行動方針は「超高齢社会への対応」です。2025年には、団塊の世代の方が全員75歳以上になり、京都府でも75歳以上の方が19%を占めるようになります。京都桂病院では昨年一年間の入院患者さんのうち75歳以上の方がすでに32%を占めています。高齢になると、衰えて行く「感覚器」、「運動器」、「脳機能」だけでなく、高齢になるとかかりやすい「がん」「心臓病」「脳卒中」にも万全の体制で対応します。また超高齢社会では予防の意味合いが大きくなります。糖尿病予防、透析移行予防、下肢血流障害対策、認知症早期発見にも今まで以上に取り組みます。ドックも充実し、健康な高齢者の発病予防と早期発見にも取り組みます。



外来化学療法センター

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17番地
TEL: (075) 391-5811(代) FAX: (075) 381-4224
E-mail: info@katsura.com

京都桂川園

久世障害デイサービスセンター・ショートステイ

今年(平成26年)2月、京都市南区久世上久世町にオープンし、南区久世、吉祥院、伏見区久我、羽束師方面を中心とした送迎ルートでデイサービスを展開し、4月からは京都市全域を対象にショートステイ事業も始めました。



当初は、身体障害の方を中心に考えていましたが、いざふたを開けてみると知的障害の方の利用希望が多く、また、4月からは支援学校を卒業した方なども利用を開始され、年齢的にも10代、20代の方を中心に、かなりパワフルな利用者の方が増えてきています。

4月2日に行われた、入所式では、利用者はもちろん職員も気持ち新たに、多様化していく利用者の皆さんを支援していくために共に学んでいくことを誓いました。まだまだ利用率は少なめですが、今後も利用者の支援に全力で取り組んでいきます。

〒615-8033 京都市西京区下津林東大般若町32
TEL: (075) 391-1675(代) FAX: (075) 391-1640
E-mail: info@katsuragawaen.com

西陣病院

西陣病院TQM活動発表会報告

春の恒例となりました西陣病院TQM活動発表会を、去る3月2日に佛教大学二条キャンパスの講堂にて行いました。TQM活動とは患者さん中心のチーム医療の実現と、病院の質向上のための小集団活動を指しますが、当院では平成23年度から看護部を中心に活動が始まり、今回の発表会が3回目になります。当日は当院から8チーム、招待病院から2チームの発表を行いました。当院の最優秀チームは愛知県の名城病院TQM活動発表会でも発表の機会をいただき、その時の講評で当院の職種を越えたチーム力を大いに参考にしたとのことのお言葉を頂きました。西陣病院ではこれからもTQM活動を継続し、患者さん中心の医療の実践のために努力していきます。



〒602-8319 京都市上京区今出川通七本松上ル
TEL: (075) 461-8800 FAX: (075) 461-5514
E-mail: nisijin@nisijin.net

京都厚生園

平成26年度行動目標として次の5つを掲げています。【①利用者、家族、スタッフ、関係機関、地域の関係性を強める、②オール京都厚生園で課題に向き合う、③「任せる」「任せられる」チームづくり、④「一人の力量に頼らない」「一人で抱え込まない」チームづくり、⑤「根拠」を考え、調べ、「根拠」を説明できるようになる】



京都厚生園山田の家縁側

今年度は、京都厚生園山田の家を開所し4拠点でスタートしました。既存拠点施設も成逸センター10周年、京都厚生園松尾の家5周年と節目の年を迎えています。各事業所・拠点施設がそれぞれの特性を活かし、ご利用者や地域から期待される役割を担えるよう全職員が自覚をもって行動します。

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46番地
TEL: (075) 392-7870(代) FAX: (075) 392-0191
E-mail: kswf@kyotokouseien.com

地域に密着した
福祉事業を目指して



法人理事
太田 勝己



平成11年4月に京都社会事業財団が運営する「総合福祉施設京都桂川園」が開設して、私が初代の園長に就任いたしました。この施設は高齢者の施設と障害者の施設を同一の建物の中に合築するという、全国にも大変前例のない施設であります。

京都桂川園は公設の施設であります。その運営は社会福祉法人京都社会事業財団に委託されました。当法人は設立の歴史が古く(故)山下名誉会長が「しあわせ」の創刊号で述べられているように、1915年(大正4年)以来100年の歴史がありますが、京都における唯一無二の事業団体として医療・保健事業の他に方面委員(現在の民生児童委員)や地域福祉(現在の社会福祉協議会)などの児童から高齢者までの事業を実施していたという実績があったからであると思います。

そして、私が開設準備と運営を担当することになったのは、開設準備が始まった時期と同じ時期に私が京都市を退職したことで、高齢者施設と障害者施設の両方を設置して運営した経験のある者が、私以外にいなかったためであり、京都厚生園の中をお借りして、準備に経験と力をお借りし、特に人材確保に全面協力を頂きながら開設したものであります。

京都桂川園は開設当初から施設の中の高齢者や障害のある人々が、地域住民の一人として共に暮らしているようにすることを最大の基本にして運営してまいりました。それ以降、法人の評議員・理事として、財

団の事業運営のお手伝いをさせていただいています。

さて私が初めて京都社会事業財団との係わりを持ったのは、今を去る50年前の1960年代(昭和30年代)の後半に、右京福祉事務所(ソニービルワーカー)をしていた時であります。当時まだ西京区は誕生していません。私は右京区松尾学区(現在の嵐山東・松尾・松陽の3学区)を担当して、当時まだ現在のような五条通りや物集女街道は無かったため、太秦から自転車でも月橋を渡り京都桂川園前の旧街道を通って生活困窮者の生活相談と支援に奔走していました。

京都桂川園も私の担当であり、新米の私は病院のペテランのメデイカルワーカーさんのご指導を受けながら、入院患者さんの生活支援のために病院を訪問していたことを思い出します。中でも最も多かったのは、当時国民病とも云われていた肺結核の入院・通院患者さんへの生活支援でありましたが、悲しい結果を迎えることも多くあり、20代半ばの私には負担の重い仕事でありました。

話を戻して、私は平成16年の春に京都桂川園の職を後進に譲って退職いたしました。この時期に地元の上京区成逸小学校跡地に、北総合支援学校と合築して京都厚生園が運営する「地域福祉施設成逸センター」の開設を準備することになりました。

支援学校の生徒さんや地域住民との交流が始まりましたが、かつて成逸小学校を卒業された高齢者がデイ

サービスの利用者としてお見えになった時には感激しました。

さて個人的な話になりますが、私は失われていく日本の原風景を写真撮影するという趣味を持っています。成逸センター開設の翌年初夏に残雪の立山へ撮影に行った時に、突然胃が痛みだしました。帰京後、西陣病院の伊谷院長に診てもらったところ胃潰瘍と診断されて、短期間で完治したのですが、院長が念には念を入れて実施していただいた組織検査で、胃潰瘍の下に癌が潜んでいるのを発見していただきました。京都桂川園の野口院長と協議していただいて、野口院長の執刀で全摘出手術を受けましたが、5年の安全圏を超えて今年の7月で術後10年目を迎えました。

私が参加している写真サークルでは毎年春に京都桂川園A棟に通じる廊下壁面のギャラリーに風景写真を展示させていただいております。これからも展示を続けてまいりますので、ご高覧賜りますようお願いいたします。

法人本部があります京都桂川園は、1937年(昭和12年)の療道協会結核療養所松尾病院の開設に始まり、今年で77年の喜寿を迎えますが、私も昭和12年生れの77歳の同い年であります。

これからも法人の中における社会福祉事業の充実・発展のために微力ではありますが頑張っていきたいと思っております。

北野保育園

生きる力を育む食

新年度を迎え、生育歴、家族構成、環境等の異なる多くの新入園児との保育園生活が始まります。一日の子どもの保育園生活の中で「保育と給食の連携」は、近年、重要性を増しています。月齢にあわせた離乳食、季節感溢れる行事食をとり入れた幼児食、近年、増加傾向にある食物アレルギー児の為に除去食等にきめ細かく対応しております。それ故、献立会議にて、保育者同士意識を共有しあい、さらに花壇の一部を利用して、トマト、キュウリ、大根等を栽培、野菜の育ち方や収穫時に食べている食材を知り、興味を持つ事で保育の一環としての食育活動に繋がっていきたいと思っております。



〒602-8318 京都市上京区老松町103-60
TEL: (075) 462-6491 FAX: (075) 462-9128
E-mail: kyoto.kitanohokuen@spice.ocn.ne.jp

松陽児童館

今年度から幼児クラブは2~3歳児の「ひまわりクラブ」に加えて1~2歳児の「すみれクラブ」を開設しました。共に登録制で毎週一回、お母さんと一緒に手遊びや工作、リズム遊びをします。絵本や紙芝居をお母さんのひざに座って聞いたり、お母さんと向かい合って手遊びやリズム遊びをして楽しく過ごします。

学童クラブは29名の1年生を迎えて、2年生29名3年生15名を合わせて73名でスタートしました。毎日、学校から「ただいま!」と元気に来ます。職員は「お帰り!」と迎えます。宿題をして遊んで、おやつを食べて、また遊んで家に帰ります。

地域の子ども達も遊びに来て、児童館は一日子どもの声にあふれています。



〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28
TEL: (075) 392-6311 FAX: (075) 392-6312
E-mail: syouyou@kyo-yancha.ne.jp

にしがも透析クリニック

高齢者にふさわしい透析環境

いつもは静かな西賀茂にも桜の賑が訪れる4月、クリニックは5年目を迎えます。主な診療は高齢者の昼間・維持透析ですが、今年の目標は、開設時の思いを大切に、「高齢者にふさわしい透析環境」としました。平成26年4月に行われた診療報酬改定への対応に苦慮していますが、西陣病院、にしがも舟山庵と連携した私どもの取り組みは、有意義なことと考え、透析ベッド数18台を20台へ増やす予定です。職員は12名ですが、看護師のユニホームを一新、社会福祉法人の一員として、日々安全で適正な透析の提供、穏やかな日常生活への支援、看取りへの取り組みなど「高齢者にふさわしい透析環境」の充実に努めたいと思っております。



〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3-1
TEL: (075) 495-1131 FAX: (075) 495-1144
E-mail: nishigamo-hdc@room.ocn.ne.jp

にしがも舟山庵

ワークライフバランスへの取り組み

法人の行動方針の第3項に「働きがいのある職場環境の整備」と「職員育成の充実」が挙げられていますが、当施設におきましても、25年度の認証制度の取り組みを契機に、職員のキャリアアップシステムが整備出来、26年度も職員の育成を最重点項目に掲げ事業を進めたいと思っております。併せて、「働き易く、魅力ある職場創り」に向け、ワークライフバランスを重視し、業務の見直しを図り、「定時に帰る」を徹底することにしました。また、自身の誕生を祝い、心身を休める日としてバースデー休暇を創設することとなりました。これらの取り組みが、職員にとって働き易く、魅力ある職場創りの一助となり、入居者のよりよい支援に繋がればと思います。



〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3-1
TEL: (075) 495-1121 FAX: (075) 495-1161
E-mail: funayamaan@room.ocn.ne.jp

二条保育園

4月の卒園式

3月の卒園式では22名の子ども達が巣立って行きました。

4月の二条保育園の入園式、そして小学校の入学式も終えた頃、卒園の新小学校1年生が保育園を訪ねてくれます。

その中で、ほぼ毎日のように園に来る子がいて、職員と他愛のない話をして小一時間ほど帰っていきます。でもまだまだ大きく見えるランドセルを背負った後姿から、小学校生活への不安や懐かしが有るのを私たちは見逃していません。小さい心のなかの葛藤が本当にいじらしく感じます。そしてパタッと来なくなります。この日を私たちは秘かに4月の卒園式と言っています。



〒604-8404 京都市中京区聚楽廻東町7
TEL: (075) 841-0139 FAX: (075) 841-6019

昭和保育園

春らんまん、花いっぱい保育園

春になると、保育園のお庭はお花でいっぱいになります。去年種蒔きをして育てた蕪は、クッキングでお味噌汁にして食べたのですが、半分は卒園式と入園式のために植えています。期待通り可愛い菜の花が卒園児を見送ってくれました。4月になって、ちゅうりっぷの花が咲き、やがて桜の花が咲くとお庭はすっかり春です。そして鯉のぼりが立つと子どもたちも大喜びで、毎日外遊びの季節となります。今年もお花や草や虫たちと、元気いっぱい育てて欲しいと思っています。

もうすぐ藤とモッコウ薔薇の花でおまごとをする姿も見られますよ。



〒605-0902 京都市東山区鞆町通七条下ル
TEL: (075) 561-0091 FAX: (075) 561-0743

つばさ園

つばさ園では30年前から子どもたちの余暇活動に和太鼓をとりいれています。小学校や地域のお祭りで、披露させていただいています。今回、さらに大きな太鼓を寄付していただくことになりました。それをきっかけに、若手職員にも新たに太鼓メンバーに加わってもらおうと、園長直伝の太鼓教室を始めました。そして、今日！2尺2寸の大太鼓が届きました!!! 立派な太鼓、いい音がします。子どもたちもさぞ喜ぶだろうと初打ちをしたのですが…あまりの音の大きさに、目を大きく開け、口も大きく開け、三角座りでびっくり! しっかり腰の入った太鼓打ちに育ってくれることを夢見て、これから練習に励みたいと思っております。



〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28
TEL: (075) 381-3650 FAX: (075) 393-4316
E-mail: tsubasa@rondo.ocn.ne.jp

ライフ・イン京都

今年3月末をもって永年ライフ・イン京都を支えてこられた明石陽子前ホーム長が退職され、4月より青山薫ホーム長が就任し平成26年度のスタートを切りました。新体制になりましても「自立支援」の信念のもと、ご入居者の心豊かな生活の実現に向けて取り組んで参ります。

春になるとライフ・イン京都の公園にはご入居者からご寄贈いただいたたくさんの方の枝垂れ桜が咲き誇ります。お花見弁当をいただきながら春のひと時を楽しんでいます。枝垂れ桜は毎年少しずつですが枝垂れ具合や色合いが変化しているような気がします。年を重ねるごとに根を地にしっかりとおりし、成熟していく様子をライフ・イン京都と重ね合わせて、これからのビジョンを組み立てていきたいと思っております。



〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46番地の2
TEL: (075) 381-1870(代) FAX: (075) 381-1899
E-mail: lifeinkyoto@lifeinkyoto.or.jp